

自己資本の構成に関する開示事項  
2019年12月末

2020年2月7日  
株式会社 池田泉州ホールディングス

(単位:百万円、%)

項目	2019年12月末	2019年9月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	223,408	221,520
うち、資本金及び資本剰余金の額	145,104	145,104
うち、利益剰余金の額	78,397	78,146
うち、自己株式の額(△)	93	298
うち、社外流出予定額(△)	-	1,431
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	2,212	2,205
うち、為替換算調整勘定	-	-
うち、退職給付に係るものの額	2,212	2,205
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	74	69
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	18	19
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,433	9,120
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	324	269
うち、適格引当金コア資本算入額	8,109	8,851
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,823	1,818
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	<b>235,969</b>	<b>234,754</b>
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	3,600	3,799
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	62	69
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	3,537	3,730
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	3,468	3,508
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	76	76
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	10,030	10,012
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	<b>17,175</b>	<b>17,397</b>
<b>自己資本</b>		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	<b>218,793</b>	<b>217,356</b>
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,675,898	1,676,048
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	100,688	100,688
信用リスク・アセット調整額	540,376	520,713
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	<b>2,316,963</b>	<b>2,297,450</b>
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	<b>9.44%</b>	<b>9.46%</b>

自己資本の構成に関する開示事項  
2019年12月末

【連結】

(単位:百万円、%)

項目	2019年12月末	2019年9月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	219,521	217,854
うち、資本金及び資本剰余金の額	150,278	150,278
うち、利益剰余金の額	69,243	69,032
うち、自己株式の額(△)	-	-
うち、社外流出予定額(△)	-	1,456
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	2,212	2,205
うち、為替換算調整勘定	-	-
うち、退職給付に係るものの額	2,212	2,205
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	-	-
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,433	9,120
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	324	269
うち、適格引当金コア資本算入額	8,109	8,851
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	208	211
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	<b>230,375</b>	<b>229,391</b>
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	3,566	3,762
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	62	69
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	3,504	3,692
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	3,445	3,479
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	76	76
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	10,030	10,012
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	<b>17,118</b>	<b>17,330</b>
<b>自己資本</b>		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	<b>213,257</b>	<b>212,061</b>
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,675,317	1,674,610
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	97,560	97,560
信用リスク・アセット調整額	541,269	521,817
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	<b>2,314,147</b>	<b>2,293,988</b>
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	<b>9.21%</b>	<b>9.24%</b>

自己資本の構成に関する開示事項  
2019年12月末

2020年2月7日  
株式会社 池田泉州銀行

【単体】

(単位:百万円、%)

項目	2019年12月末	2019年9月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	204,177	203,089
うち、資本金及び資本剰余金の額	150,248	150,248
うち、利益剰余金の額	53,929	54,294
うち、自己株式の額(△)	-	-
うち、社外流出予定額(△)	-	1,453
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,333	5,872
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	-	-
うち、適格引当金コア資本算入額	5,333	5,872
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	<b>209,511</b>	<b>208,962</b>
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	3,569	3,778
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	3,569	3,778
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	2,104	2,176
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	76	76
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	7,818	7,807
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	<b>13,568</b>	<b>13,838</b>
<b>自己資本</b>		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	<b>195,942</b>	<b>195,123</b>
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,686,415	1,686,893
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	89,040	89,040
信用リスク・アセット調整額	517,311	495,736
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	<b>2,292,766</b>	<b>2,271,670</b>
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	<b>8.54%</b>	<b>8.58%</b>